

前回WGにおける指摘事項について

○ある程度の目標を見据えなければどこまで対策を行うべきか定まらない。今後、目標時期・目標レベルを考慮しながら対策を考えていくべきではないか。(WG 委員)

→これから様々な機器の開発が進み、具体的問題点がはっきりした段階で、更に効果的な対策となるよう見直していくべきであると考えており、今は既設エレベーターに対する取り組みがこれからという段階であることから、報告書(案) 9 ページ「1. 既設エレベーターの安全性確保に向けた基本的方針」及び報告書(案)の概要3 ページ「基本的方針」において、「また、今後この対策による進捗状況を踏まえ、更に効果的な対策となるよう見直していくべきである。」と追記した上でパブリックコメントの募集を行った。

○試験塔における試験の実施を不要とする場合は、計算に用いるシミュレーションの信頼性が担保されている必要があることを明記すべきではないか。(WG 委員)

→報告書(案)の概要7 ページ「大臣認定制度の運用の明確化のイメージ」の図中において、「試験塔における試験の要件の明確化」の内容を「適切なシミュレーションが可能な場合は、必ずしも試験塔における試験の実施を求めない。」に修正した上でパブリックコメントの募集を行った。